

7月5日(土) 午後2時 OB・OG感謝デー



[母校webpage↑]

高津に集まるうらやま

皆様の御支援に感謝申し上げます、7月5日(土) 午後2時～5時、高津高校グラウンドに於いて OB・OG感謝デーを開催します。

- OB・OGの皆さん、久しぶりに現役とゲームを楽しんでみては如何ですか!
- 軽い運動ができる服装をご持参ください。
- 小さな子供さんの面倒を現役が見ますので、ご家族でお気軽にご参加ください。
未来の!スタープレーヤー [中川雅博(高33期)jr.]⇒
- 体育館が使用できないため雨天中止です。

総会・懇親会は、7月5日夕方 6時～8時、高津ガーデン (2階コスモスの間) で開催します。

近鉄 上本町駅 北東へ徒歩3分
TEL. 06-6768-3911
(天王寺区東高津町7-11)



会費納入・寄付金のお願い!

当会を運営するためには皆様の会費収入が不可欠です。毎年、600通以上の会報を発送し、20万円以上の現役補助費を捻出するには寄付金も必要です。何卒、絶大な御協力をお願い申し上げます。

趣旨に賛同頂き 2008年度 会費 3000円 及び 寄付金を納入して頂く方へ

同封の郵便振替用紙を使用頂くか 銀行振込をお願いします

2008年度 会費納入 郵便振替 用紙

三菱東京UFJ銀行 生野支店
普通預金 NO. 3999316
「高津高校高校ハンドボール部 OBOG会」

【振込人名】に卒業年度/会費/寄付を付記ください
※※※ 書き方例 ※※※
「高津花子 コウ99キ カイヒ キフ」

2007年度 決算

2007/04/01～2008/03/31

繰越金収入	2007年度 繰越金	322,230
年会費収入	3000×81名	243,000
寄付金収入		153,000
総会費収入	6000×30名	180,000
総会費	高津ガーデン払	▲279,568
現役補助費	ユニフォーム等購入	▲253,450
会報費	印刷・発送費等	▲87,169
通信費	はがき 切手他	▲44,000
事務消耗費	振込み用紙	▲5,100
雑費	振込手数料	▲6,050
雑収入	銀行利息	222
差引残高	次年度繰越	223,115

大阪府立高津高等学校ハンドボール部OB・OG会役員

<p>【会長】 川上貴司 (高19期)</p> <p>【副会長】 大地庸元 (高20期) 塚正泰之 (高26期) 中野元博 (高26期) 玉井牧子 (高28期)</p> <p>【財務幹事】 清水 昇 (高20期) 井崎克史 (高20期)</p> <p>【顧問】 橋本靖雄 (高3期)</p>	<p>【選任幹事】 中江義雄 (高10期) 柳 朝子 (高11期) 渡邊斎頭 (高13期) 許斐建樹 (高14期) 鈴木栄太郎 (高15期) 久岡敏博 (高18期) 稲葉良幸 (高20期) 早島知雄 (高20期) 片岡純夫 (高23期) 山本裕子 (高28期) 太田寛人 (高30期) 前川義信 (高34期) 平澤あず (高49期)</p>	<p>【特別会員】 (旧職員) 村田 弘 今中啓旦 太田正人 門田昌司 前田美穂</p> <p>【事務局】 川上貴司</p> <p>【会報編集】 大地庸元 中野元博</p>
---	--	--

感謝デー・総会への出席、会報送付先の変更は下記にご連絡ください。当会運営充実のため、選任幹事を募集します。自薦・他薦を問いません。特にOG役員や高30期以後のOB役員の推薦を下記に連絡をお願いします。

【事務局】〒542-0074

大阪市中央区千日前1-4-8 千日前M'sビル7階 光洋商事株式会社内 川上貴司
Tel.06-6213-1901 Fax.06-6213-4903 E-mail: takashi-fm324@ams.odn.ne.jp



第4号

発行日 2008年6月1日

大阪府立高津高等学校ハンドボール部 OB・OG会会報

高津ハンドボール

第4回 OB・OG会 総会 開催される



2007年7月7日 於 上六 高津ガーデン

2007年感謝デー・第4回総会(懇親会) スナップ写真集



本年(2008年)の感謝デーと総会は、7月5日(土)です

2007年感謝デー・第4回総会(懇親会) スナップ写真集



ご挨拶 (母校ハンドボールクラブの活躍)

高津高校ハンドボール部OB・OGの皆様、いつも現役生に温かいご支援・ご声援をいただき、ありがとうございます。ハンドボール部の副顧問をしております、社会科の前田美穂です。主顧問の太田先生と同じ平成15年度に着任し、本校での勤務も今年で6年目をむかえました。私自身、高校時代、府立高校のハンドボール部に所属し、光栄にも本校旧職員で、OB・OG会の役員でいらっしゃる、村田弘先生よりご指導いただくことができました。当時、村田先生が2Fにある体育教官室からゆっくりとした足取りで降りてこられると、「あっ村田先生だ!」→「えっどこどこ?」→「うわあ、こっちへ来られるよ」→「まっ、まずい(?)」…“第一発見者”から皆に伝令がいきわたります。コート横からじっと眺めておられるだけで威厳があり、つい力んでしまってシュートはずすなどといったこともありました。「頭を使ったプレーをする」「自分を甘やかさない」ことを、厳しい姿勢で、また時に優しく教えてくださいました。練習方法や用具、試合のルールなど、時代とともに変わってきたものは多くありますが、「ハンド大好き!」の気持ちと「次は絶対勝ちたい!」と、努力する、若者らしいひたむきさは今も当時も同じで、それゆえ、その頃の前向きだった気持ちを思い出させてくれる生徒たちに、心を洗われる気がします。現役の部員たちは、太田先生の指導のもと、毎日、短い練習時間を効率よく使って、頑張っています。“集中力の高さ”と、“こうなりたいというイメージを常にもっている”ところが、高津高校のハンド部の部員たちのすばらしさだと感じています。

さて、ここで現役の3年生の活躍をご報告させていただきます。昨年11月に行われました、「平成19年度大阪高校新人大会 南ブロック大会(南北2ブロック制)」において、女子が大谷高校をやぶり悲願の初優勝、男子も準優勝という素晴らしい成績をあげ、男女そろって中央大会出場を果たしました。堺市の家原体育館で行われた中央大会において、女子は、2回戦(準々決勝)に進出したものの、大阪福島女子に8-25で敗れました。また男子は1回戦で善戦するも、府立東豊中・千里青雲に12-18で敗退。しかしブロック大会から1試合ごとに成長して潜在的な力を発揮し、何よりも、やればできるという自信を身につけることができたのは大きな成果だと思います。男女ともこの活躍により、平成20年度インターハイ予選(4/27~)に於いて、南ブロック大会でシード権を獲得することができました。また、19年度新人大会南ブロック大会の優秀選手に、男子2名・女子4名が選ばれ、さらに男女3名を加えた、計9名が南ブロック選抜チームのメンバーに選ばれるという快挙をなしとげました。

現在、平成20年度インターハイ予選が行われています。結果については、次の機会にあらためてご報告させていただきます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。 高津高校ハンドボール部副顧問 前田美穂

額田晃作油彩展を見て

5月3日に川上会長と額田画伯の個展(近鉄百貨店阿倍野店美術画廊)に伺いました。額田先輩(高校5期)が独立美術協会会員として審査する立場にある高名な画伯であることを知らず、会場に飾られた力強い数々の絵と150名近い来場者に圧倒されました。当日は約1時間のトークショーで額田画伯を丸裸にする企画があり、歯科医との両立や9回を数えるエチオピア取材(ランクル3台にシェフまで同行)のエピソード、なぜバラの絵を描き続けているのかなど笑いを交えたトークが展開されました。額田画伯はエチオピアについてprimitiveが残っている貴重な地であるが、徐々に文明の波が押し寄せており「行くなら今のうち」と強調されていました。今回の個展では、油絵だけでなく素描や陶芸品も出品され額田画伯の多才さが十分に感じられるものでした。最後に、素人がどうしても気に入る絵の値段ですが(私だけでしょうか)新体操を描いた120号の「空」という作品で315万円でした。同行した家内は小さい薔薇の絵でもいいからほしいと申ししておりましたが、それに釣り合う部屋がないのでやめておきました。近鉄百貨店で毎年開催されている個展の他、国立新美術館で10月に開催される独立展でも先輩の作品を鑑賞することができると思います。



空(120号)

田中保和校長先生を訪ねて

昨年の感謝デーの際、OBOGと現役の試合を観戦にグラウンドにまで来ていただいた校長先生を撮影した写真を持って、5月8日に川上会長と母校を訪問しました。体育の授業で掛け合う声が聞こえる中、校舎に入って校長室に通され、額田先輩作の大きな薔薇の油絵を拝見しました。ハンドボール部顧問の太田先生にも同席して頂き、創立90周年を迎えた高津高校の教育に対する所信を田中保和校長先生にお聞きしました。



- 会長『太田先生が頑張ってください、女子部が新人戦南ブロック優勝、男子が準優勝できました。』
 校長『先日女子ハンドが中央大会進出を決め、頑張っていますね。試合をするたびに強くなっています。』
 会長『今日は校長先生のご紹介を会報に載せさせていただきたく、よろしくお願い致します。さて、先生が、FROM KOZUにお書きになっておられる「教育の目標」に、「自由と創造」があり、さらに、強靱なる「知性」、みずみずしい「感性」、品格のある「人間性」の三つを掲げておられますね。』
 校長『簡潔に言うと、学校に来て良かった。この高津に来て、立派な大人に成長できた。そういう学校にした。『強靱な知性』とは単に学力だけでなく、自分で考えて判断できるような「知性」が無ければいけない。当然、高津の場合は進学校ということで、進学実績というものが要求されるのですが、学力はあるが、人のことが考えられない学生ではダメです。硬くてポロッと簡単に折れてしまうような脆いものではなく、どんな状況の中でも耐えられ、強く、しなやかに対応できる知力を身につけて欲しい。』
 会長『幅広く、人間性を加味したような「知性」ということですね。』
 校長『みずみずしい「感性」、これは今の時代の子供に一番欠けているところだと思うのです。学習活動だけではなく、クラブ活動や体育祭・文化祭などの機会を通じ、人を思いやる気持ち、芸術、良いものに触れて感動する気持ちを身につけさせたい。創造性のある活動を営むためには、美しい情緒が必要です。情緒と形を大切にすると人間性、周りから信頼されて尊敬される「品格ある人間性」を備えた人に育って欲しいと考えています。結局、それぞれが、今の子全般に欠けているところだと思います。』
 中野『大学生になっても「自分から進んでやっていく」という積極的な姿勢が不足していると思います。』
 校長『創造の方が弱いんですね。自由は謳歌していて、マナーの方が心配なので、去年から挨拶運動を始めました。生徒は挨拶できないのではなくて、照れているんです。最初は教員から声掛けをして挨拶していましたが、二度、三度と繰り返せば自然に挨拶します。運動部の子は前から大きな声で挨拶してましたね。』
 太田『昨日私の同級生が訪ねて来て「皆、すごく挨拶するようになったなあ!」と感心して帰られました。』
 会長『ところで、学区が大幅に広がりましたが、何か影響がありましたでしょうか?』
 校長『同学区の天王寺はネームバリューがあり、志望者が多いのですが、結果的に、高津も競争率が1.35倍と高くなりました。「自由」に惹かれてくる生徒もいます。』
 会長『なるほど。ハンドボール部は、もちろん頑張っていますが、ほかのクラブは、いかがですか?』
 校長『化学部は、全国化学グランプリで大賞をとりました。サッカー部、ワンダーフォーゲル部、ラグビー部なども頑張っています。クラブを活発にしていって、笑顔あふれる学校にしたいと思っています。』
 会長『本日はお時間をいただき、ありがとうございました。今後ともご支援の方よろしくお願い致します。』

田中校長先生が着任されて、すぐにナイター照明を点くようにしていただき、部活動が活発になりました。母校ウェブページのトップにハンドボール部員の笑顔が映し出されてきますので、是非、一度ご覧ください。創立90周年を迎えてスーパー・サイエンス・ハイスクールの指定を受け、今後の飛躍が楽しみです。 中野元博(高校26期)